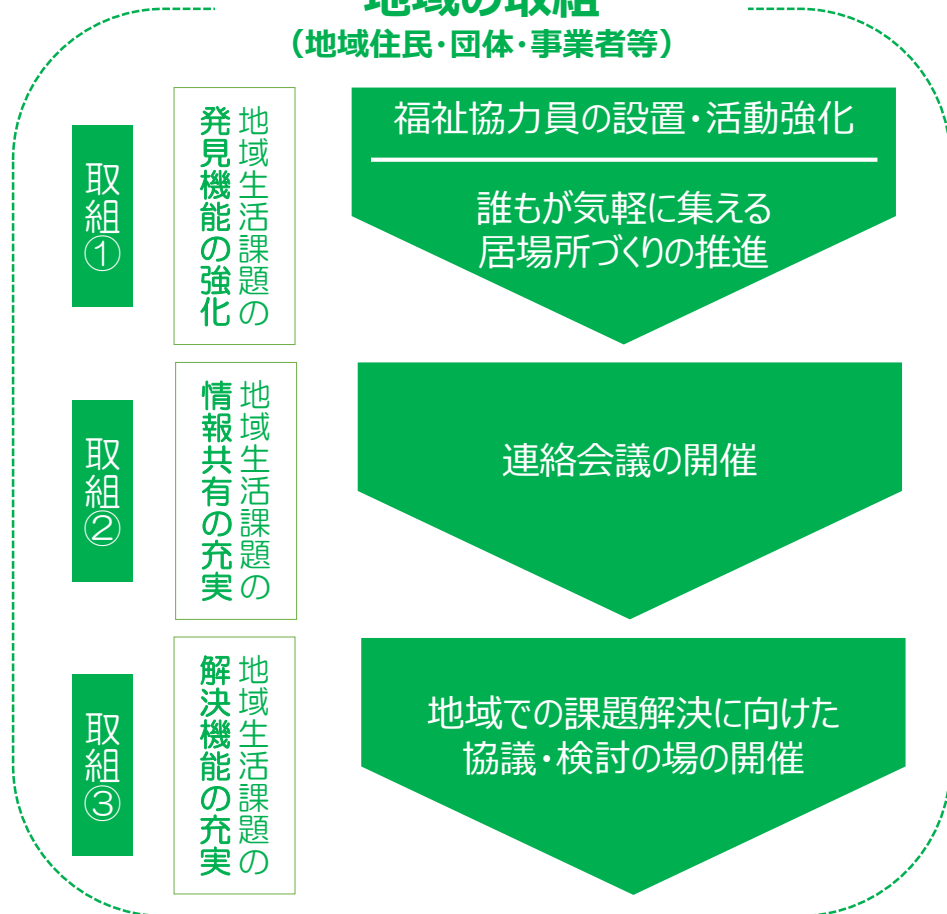
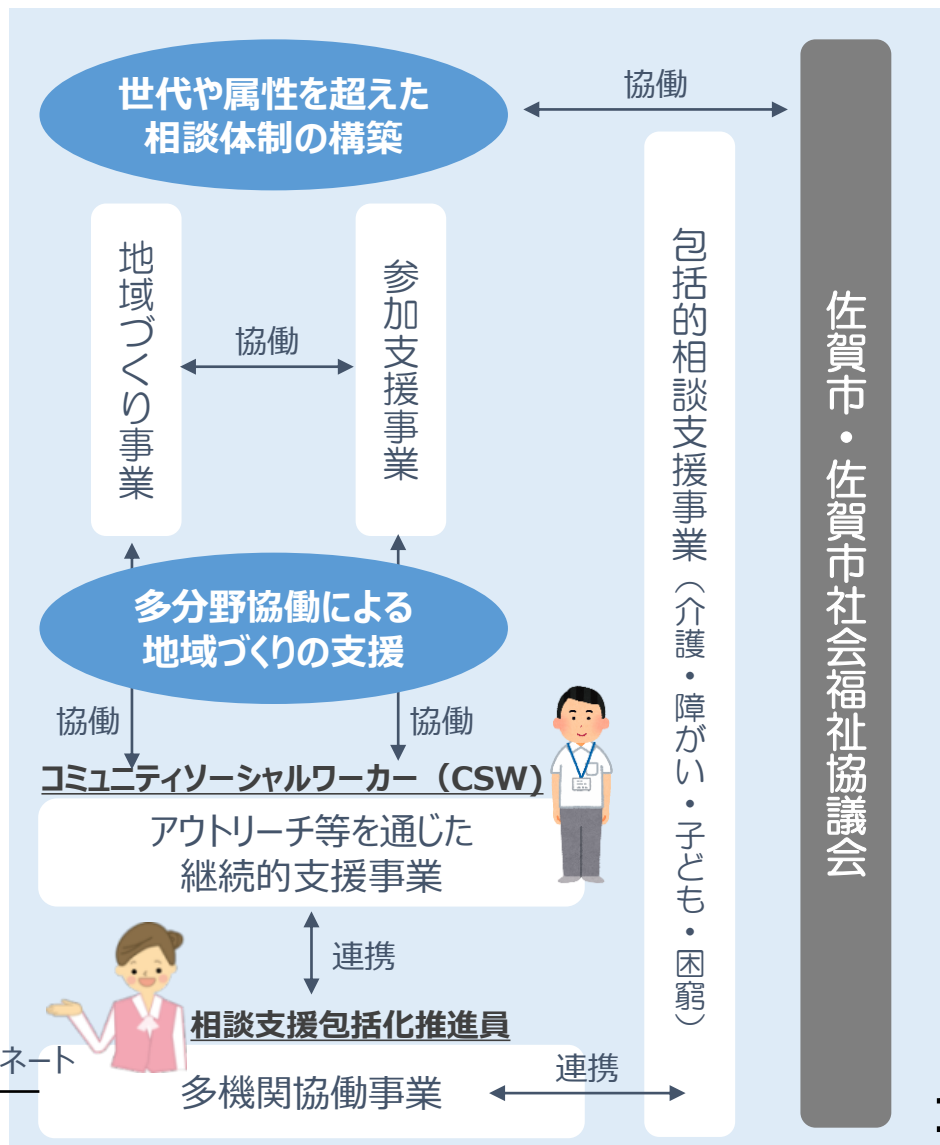


◆重点取組（R3年度～7年度）：包括的な支援体制の整備～重層的支援体制整備事業の実施に向けた取組～

### 地域の取組 (地域住民・団体・事業者等)



### 重層的支援体制整備事業



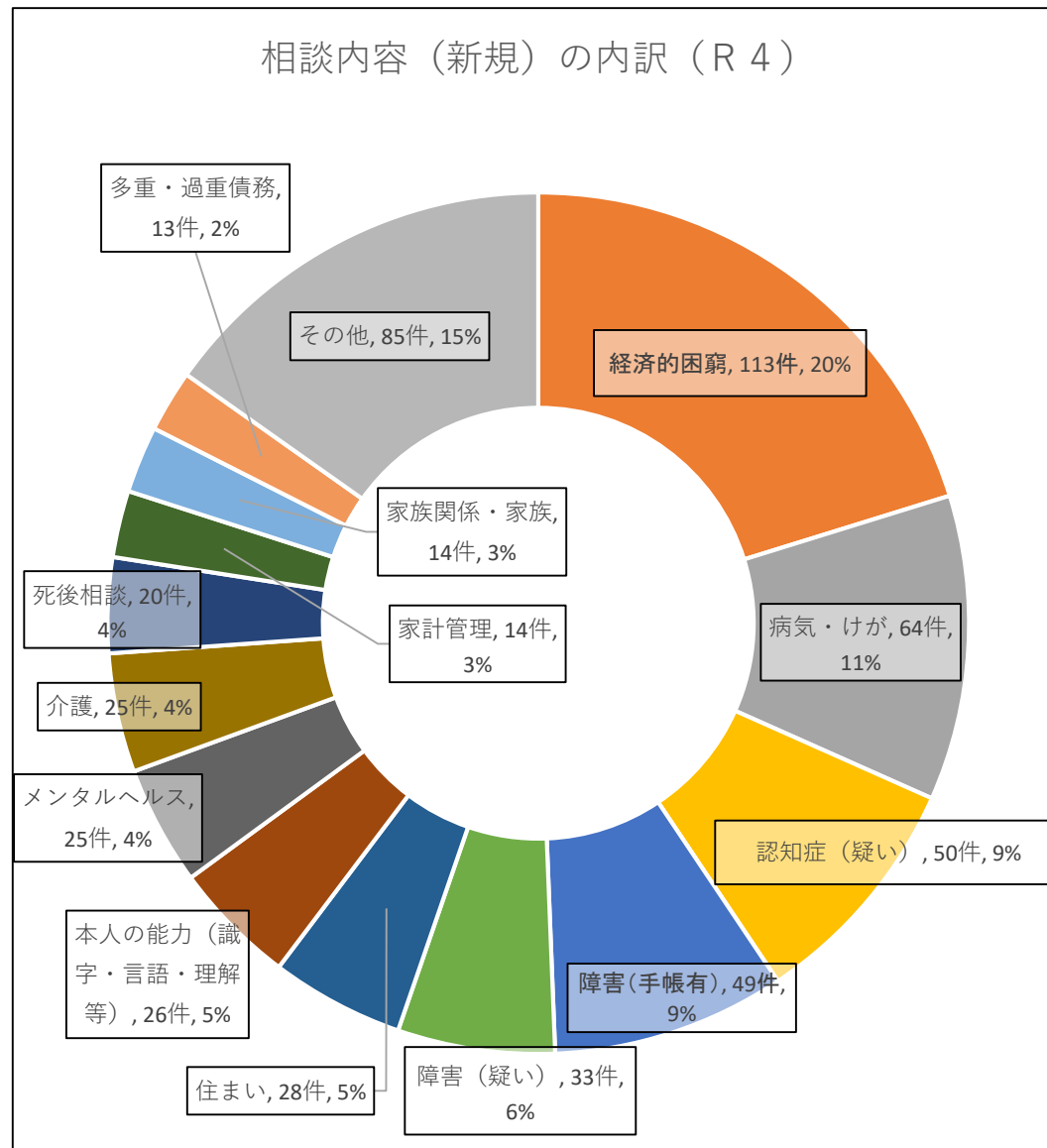
世帯を取り巻く支援関係者の調整  
包括的支援に向けた協議

コーディネート

# 重層的支援体制整備事業の実績①

## ◆多機関協働による相談支援包括化推進事業（まるごと相談窓口）

R5 (上半期)	状況区分	新規	継続	フォロー	合計
	相談件数	296	272	47	615
R4	状況区分	新規	継続	フォロー	合計
	相談件数	559	256	148	963
R3	状況区分	新規	継続	フォロー	合計
	相談件数	546	72	194	812

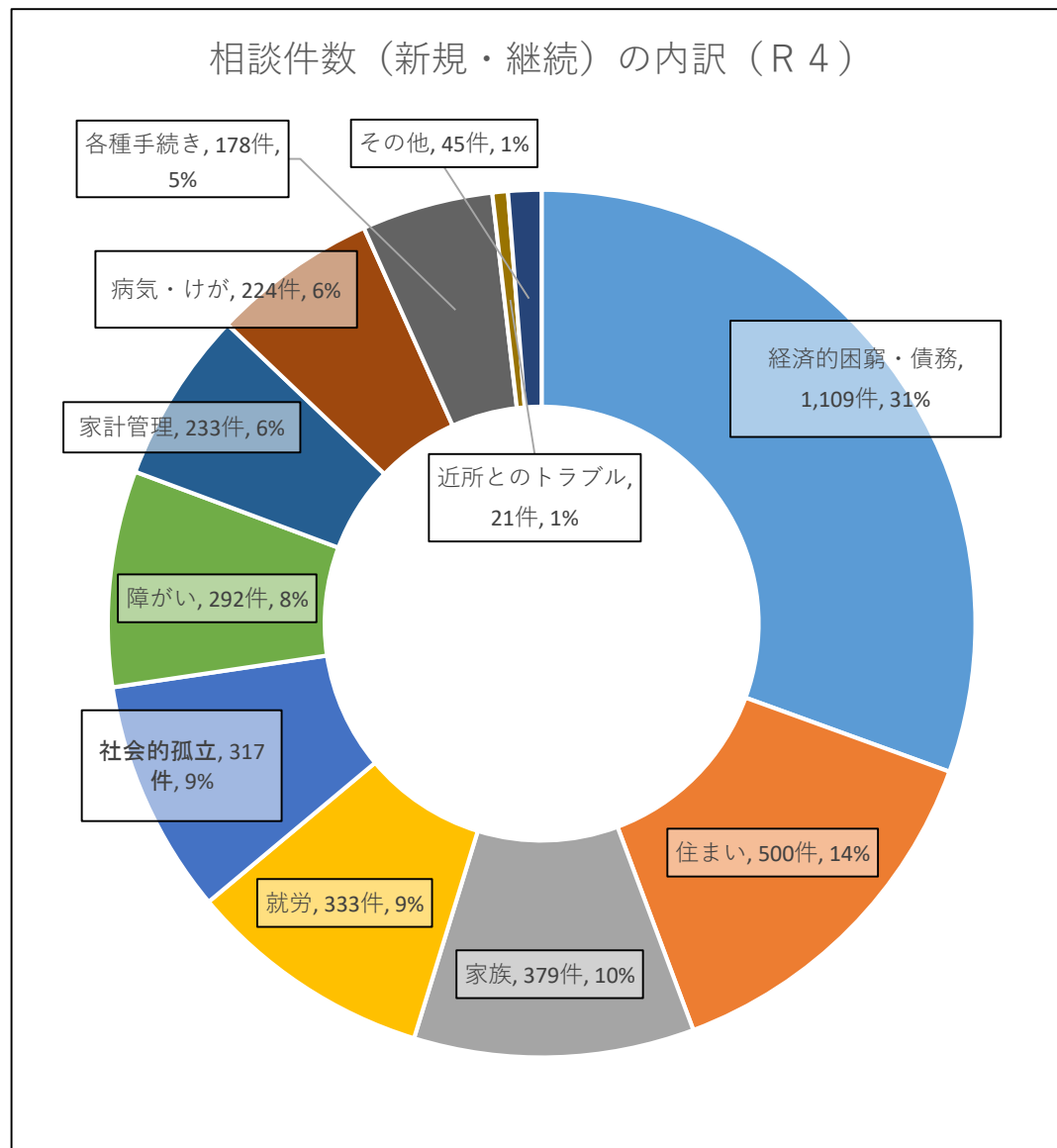


# 重層的支援体制整備事業の実績②

## ◆アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

R5 (上半期)	校区	北エリア	中エリア	南エリア	合計
	相談件数(新規)	43	27	33	103
	相談件数(継続)	288	503	418	1,209
	合計	331	530	451	1,312
R4	校区	北エリア	中エリア	南エリア	合計
	相談件数(新規)	20	46	44	110
	相談件数(継続)	995	1,554	972	3,521
	合計	1,015	1,600	1,016	3,631
R3	校区	北エリア	中エリア	南エリア	合計
	相談件数(新規)	27	26	25	78
	相談件数(継続)	1,095	742	747	2,584
	合計	1,122	768	772	2,662

相談件数（新規・継続）の内訳（R4）



# 重層的支援体制整備事業の実績③

## ◆参加支援事業（就労や居住支援等地域とのつながりづくり支援件数）

R5 (上半期)	校区	北エリア	中エリア	南エリア	合計
	初期相談	1	0	0	1
	継続相談	8	5	0	13
	合計	9	5	0	14
R4	校区	北エリア	中エリア	南エリア	合計
	初期相談	3	2	1	6
	継続相談	45	36	10	91
	合計	48	38	11	97

## ◆仕組みづくり支援（コミュニティカフェ等の新たな居場所づくりの件数）

R5 (上半期)	校区	北エリア	中エリア	南エリア	合計
	新たな仕組み	0	5	1	6
R4	校区	北エリア	中エリア	南エリア	合計
	新たな仕組み	1	4	0	5
R3	校区	北エリア	中エリア	南エリア	合計
	新たな仕組み	0	4	3	7

## ◆地域づくり事業（地域支援：校区社協などとの連絡調整会議等への参加件数）

R5 (上半期)	校区	北エリア	中エリア	南エリア	その他	合計
	事業等支援	429	588	228		1,245
R4	校区	北エリア	中エリア	南エリア	その他	合計
	事業等支援	911	1,129	811	108	2,959
R3	校区	北エリア	中エリア	南エリア	その他	合計
	事業等支援	799	1,206	709		2,714

関係機関	支援回数
校区社会福祉協議会	1,530
民生委員・児童委員	534
地域住民	259
地域包括支援センター	170
福祉協力員	115
ボランティア	111
自治会	87
公民館	44
行政	42
その他	38
福祉施設・事業所	16
多機関協働	9
医療機関	4
合計	2,959

# 第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画

## 重点取組 ～重層的支援体制整備事業～

### 佐賀市社会福祉協議会の取り組み

- ・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業・参加支援事業
- ・アウトリーチ・参加支援 事例

 社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

## R5年度

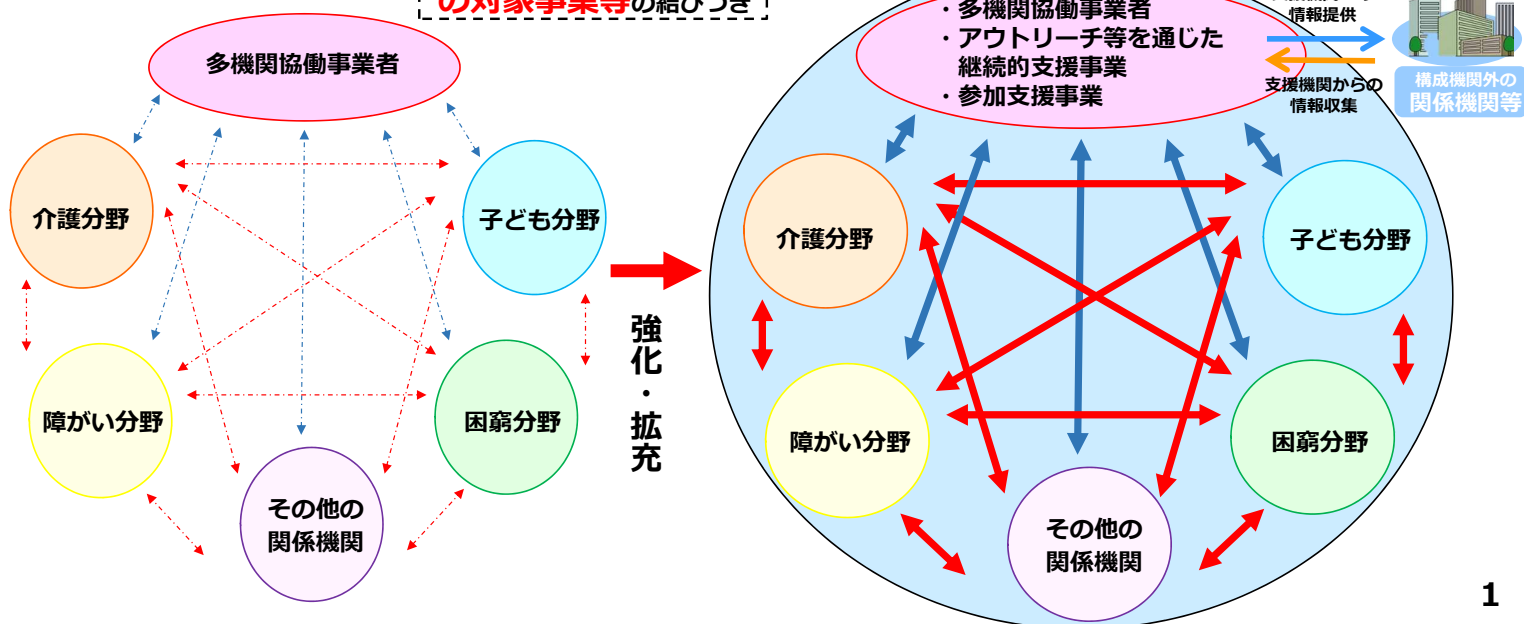
### 重層的支援体制整備事業の取り組み

令和3年度

多機関協働と既存制度  
の対象事業等の結びつき

令和4年度～

多機関協働と支援機関との  
双方向の結びつきに加え、  
各分野同士の結びつきを強化



## ◆アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

相談に対して待ちの姿勢から積極的に地域に出向き、支援が届いていない人に支援を届けたり、会議や関係機関とのネットワークの中から潜在的な相談者を見つけ、対象者との信頼関係の構築に向けた支援に力点を置けるように目指していく。

## ◆参加支援事業

重層的支援体制整備事業の新たな必須事業であり、対象者に対して社会（地域）とのつながりを再構築するために、対象者一人ひとりのニーズに沿った支援メニューを提示（地域の社会資源を活用）し、CSWが対象者やその世帯を、地域や社会と継続的につながるような伴走型の支援を展開していくことを目指していく。

2

## 事例紹介

### ◆相談者

50代 女性

### ◆相談経緯・内容

相談者が多機関協働事業（福祉まるごと相談）に来所。

家族（元夫・娘）より暴言等があり、精神的に苦痛の為、早く家を出て**一人で生活をしたい**。また、仕事をして収入はあるが**多額の負債があり、現在、お金がなく返済に困っている**。いずれは、**地域住民と交流しながら生活を送りたい**。

### ◆課題

- 一人暮らしができる住居を見つける
- 多額の負債がある為、債務整理等を行う必要がある
- 地域住民と交流ができるきっかけをつくる

3

## アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

### ◆プラン（それぞれの課題に対して）

#### ①住居について

目標：住まいサポートSAGAと連携し、**住居とライフラインの確保**

#### ②生活費について

目標：給与が入るまで10日間、グリーンコープの貸付、  
佐賀市社会福祉協議会の食糧支援を活用して**生活費の確保**

#### ③家計見直しについて

目標：転居後に家計見直しを行い、**多額な負債の債務整理等を行う**

### ◆関わる機関

#### ①住まいサポートSAGA

#### ②③佐賀市家計見直し相談室



**CSWが伴走して支援を行う**

4

## アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

### ◆支援経過

①住まいサポートSAGAと連携して、**相談日から1週間後に住居を確保し**、転居を行う。また、ライフラインや日用品等の生活に必要なものを**CSWと一緒に揃えた**。

②CSWが週2回程度、自宅訪問し、対象者の生活状況の確認を行いながら金銭管理の状況を把握する**伴走型支援**を行うと対象者は自身で金銭管理を行うことができた。その後、自身の給与が入ってきた為、生活費は確保できる。

③佐賀市家計見直し相談室に弁護士を紹介してもらい、**CSWと一緒に**弁護士事務所に行き、**自己破産等の手続きを行った**。

5

## 参加支援事業

### ◆プラン（本人の希望）

今後、**地域住民と交流して生活を送りたい。**

### ◆目標

地域行事等に参加し、交流等を行い、**地域内で顔の見える関係性をつくる**

### ◆関わる地域

- ①自治会
- ②民生委員児童委員協議会
- ③地域住民



**CSWが対象者と  
地域をつなぐ支援を行う**

## 参加支援事業

### ◆支援経過

- ①自治会主催で**地域住民が誰でも集える  
地域の居場所（コミュニティカフェ）を開催**することになる。
- ②対象者に**参加することを伺う**と、了承され、**CSWと一緒に参加**することになる
- ③参加する前に**CSWから自治会の方に対象者について簡単に説明**する
- ④CSWと対象者が参加すると、**地域の女性の方から積極的に声をかけて  
もらい、打ち解ける**ことができる。
- ⑤居場所が終わった後も、**地域であつたら声をかけてもらえ**る様になった。

## それぞれの支援の結果

### ◆アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

- 対象者から**生活状況を伺い**、今後の**生活に関する希望を確認**しながらプラン作成を行い、プランに沿って生活環境を整えたり、**今後の生活が困らない様に伴走しながら支援を実施**した。

### ◆参加支援事業

- CSWから対象者に地域行事に参加することを確認し、プラン作成を行い、対象者が**地域住民と交流し打ち解けることができるように準備**した。結果、地域住民と交流することができ、**顔の見える関係性をつくること**ができた。また、対象者が**安心して地域で生活を送る環境につながった**。